

馬主だより

第99号

平成31年4月12日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

☆新元号“令和”新たな時代の幕開け 時代を生き延びるためには ?!

▼今年も新年度を迎えました。時々雪がちらつき風は未だ肌寒い日もありますが、日増しに気温も上がり日中のぽかぽか陽気が、春を感じさせる季節の到来です。道内はもう少し先になりますが、平年より少し早い桜前線が北上しています。▼4月には心機一転、新たな目標や誓いを立てる時期でもあります。目標を立ててもそれを実行に移さなければ意味がなくなってしまいます。▼平成最後の4月、新元号「令和」は5月1日新天皇の即位とともに始まります。新たな時代の幕開けまで僅かとなった今だからこそ、正に新時代にふさわしい新たな目標を掲げ、それを達成するためにしっかりと一歩一歩着実に前進する努力を怠らない。決して現状に甘んじることなく、常に改善を意識し挑戦し続ける心を強く持つことが非常に大切だと考えます。▼グローバル化、高度情報化、人口減少、少子高齢化とさまざまな課題に直面している現代日本。これからの時代を生き延びるためには、人材確保、育成が極めて重要となります。そして、世の中の変化に柔軟に対応する力、それこそが不可欠な要素ではないでしょうか。▼“企業は人なり”人こそが企業の財産であると言われるように、今後、重要性がますます高まってまいります。時代に取り残されないよう頭を切り替えられるか、その転換が勝敗を分ける!!

平成30年度 ばんえい競馬 発売成績 (累計)

開催151日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成31年3月24日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成30年度			平成29年度		対 比		
	日 数	発 売 額	予 算 額	日 数	発 売 額	予 算	前 年	
帯広競馬場	151	1,349,960,400	1,320,967,000	150	1,317,728,300	102.19%	102.45%	
直 営 場 外	旭川北彩都	151	607,563,200	615,954,000	150	621,764,600	98.64%	97.72%
	ミトスポット北見	151	562,966,300	536,210,000	150	457,035,700	104.99%	123.18%
	ハロンス岩見沢	151	200,361,400	198,740,000	150	244,768,000	100.82%	81.86%
	ハロンス釧路	151	94,505,100	92,778,000	150	98,635,400	101.86%	95.81%
	ハロンス名寄	151	116,587,300	111,747,000	150	107,095,700	104.33%	108.86%
	アプスポット網走	151	95,701,500	94,461,000	150	70,273,100	101.31%	136.19%
	琴似駅前	151	134,089,300	134,268,000	150	136,330,500	99.87%	98.36%
	イルムふかがわ	151	86,752,400	84,000,000	150	89,586,000	103.28%	96.84%
電 話 投 票	オッスパーク	151	6,119,343,800	6,238,923,100	150	5,469,213,200	98.08%	111.89%
	OP(七重勝)	151	30,367,500		150	40,183,600		75.57%
	OP(五重勝)	151	73,491,800	95,388,900	150	80,657,000	108.88%	91.12%
	競馬モール	151	5,954,269,700	6,157,507,000	150	5,622,353,000	96.70%	105.90%
	SPAT4	151	7,346,345,000	7,441,619,000	150	6,056,634,200	98.72%	121.29%
広域場間場外	—	1,656,889,000	1,649,885,000	—	1,580,383,200	100.42%	104.84%	
場外・電投計	—	23,079,233,300	23,451,481,000	—	20,674,913,200	98.41%	111.63%	
合 計	151	24,429,193,700	24,772,448,000	150	21,992,641,500	98.61%	111.08%	
1日平均		161,782,740	164,055,947		146,617,610	98.61%	110.34%	

平成30年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第26回5日目まで151日間)

平成29年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第26回5日目まで150日間)

会議等の様子

○ 平成 31 年 2 月期迄の 11 ヶ月間の監査を実施！！

～ 理事の職務 協会の業務、財務、会計の状況について調査 ～

平成 31 年 3 月 16 日(土)当協会事務局会議室に於いて、堂場、熊谷両監事により、平成 30 年 4 月から平成 31 年 2 月期迄の 11 ヶ月間における理事の職務の執行状況又協会の業務並びに財産及び会計の状況について監査頂きました。

監査当日は、業務執行者を代表して大阪代表理事会長並びに長津副会長の他、事務局職員立会の下、関係諸帳簿、証拠書類等について、内容を調査、閲覧、報告の聴取等により監査が行われました。

【監事監査資料】

- 資料 1 平成 30 年度事業実施報告（見込み）
- 資料 2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況（見込み）
- 資料 3 平成 30 年 4 月～平成 31 年 2 月期決算報告書（財務諸表）
貸借対照表、正味財産増減計算書、予算対比正味財産増減計算書、
収支計算書、予算推移付収支予算管理月報、財産目録、貸借対照表内訳表、
正味財産増減計算書内訳書、収支計算書内訳書、特定資産の増減及びその残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
- 資料 4 預金残高証明書（平成 31 年 2 月 28 日現在）各取引金融機関発行
- 資料 5 その他参考資料
平成 30 年度流通促進事業（臨時家畜市場）収支、純益総括表
平成 30 年度機構図、平成 30 年度新規会員、平成 30 年度会員資格喪失者

○ 平成 30 年度第 11 回執行役員会開催！！

～ 調教師会との確認事項 特定資産の運用方法など審議 ～

平成 31 年 3 月 17 日(日)当協会事務局会議室に於いて、平成 30 年度第 11 回執行役員会を開催しました。

議事については、始めに競走馬弔慰金の査定について、今回、対象馬一頭について審議。原案のとおり承認決定されました。

また、ばんえい十勝調教師会との確認事項については、例年、新年度のばんえい競馬開催に先立ち、預託契約等に係る必要書類等の整備について、調教師会と当協会を確認、申し合せをするため、事前協議を行いました。

続いて、特定資産等の基金や資金の運用方法について検討。平成 30 年度末の残高見込みを踏まえ、元本回収の確実性が担保され、かつ可能な限り高い運用益が得られる方法で運用を行うことが基本にあることから、引続き複数の金融機関において確実性の高い定期預金による運用をすることになりました。

その他、第 6 回理事会に先立ち議案等議事の進行方法について、事前調整を行いました。

【第 11 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) ばんえい十勝調教師会との確認事項について
- (3) 特定資産の運用方法

- (4) 平成 30 年度第 6 回理事会議案
 (5) その他

【馬弔慰金支給対象馬】 1頭 550,000円

内 訳 (単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ラブキュート	3	阿 部 榮 喜	療養中	550,000

○ 平成 30 年度第 6 回理事会開催！！

～ 就業規則等の制定 新年度事業計画、予算案を審議決定 ～

平成 31 年 3 月 17 日(日)当協会事務局会議室に於いて、平成 30 年度第 6 回理事会を開催しました。

今年度最終となる理事会の議案は、理事の退任に伴う表彰規程に基づく表彰について、また、会の運営について見直しを図るため競走馬弔慰金給付規程、役員選任規程等の一部改正や、働き方改革に伴い、職員の就業規則等の整備を行いました。

その他、新年度、平成 31 年(令和元年)度の事業計画及び収支予算案について審議。原案のとおり可決承認され、通常総会において報告することになっております。

【第 6 回理事会議事】

- | | | |
|------|----------|--------------------------------|
| 日程 1 | 報告第 1 号 | 競走馬弔慰金の給付額決定について |
| | 報告第 2 号 | 正会員の入会申込みについて |
| | 報告第 3 号 | 平成 31 年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情回答 |
| | 報告第 4 号 | 理事の辞任について |
| 日程 2 | 議案第 1 号 | 当協会表彰規程に基づく表彰について |
| 日程 3 | 議案第 2 号 | 給与規程の一部改正(案)について |
| | 議案第 3 号 | 職員就業規則の制定(案)について |
| | 議案第 4 号 | 嘱託職員等就業規則の制定(案)について |
| 日程 4 | 議案第 5 号 | 競走馬弔慰金給付規程の一部改正(案)について |
| 日程 5 | 議案第 6 号 | 役員選任規程の一部改正(案)について |
| 日程 6 | 議案第 7 号 | 平成 31 年度事業計画書(案)の承認について |
| | 議案第 8 号 | 平成 31 年度収支予算書(案)及び附属明細書の承認について |
| 日程 7 | 協議案第 1 号 | 装蹄料金の改定等について |
| 日程 8 | 協議案第 2 号 | 平成 31 年度実施方針説明会の開催 |
| 日程 9 | その他 | ① 次回理事会、通常総会等の日程 |

※ 報告第 3 号の平成 31 年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情の内容と回答は、別紙のとおりです。

【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
H30-13	濱 名 康 治	北18-25	道南ブロック
H30-14	宮 本 ナヲ	北19- 3	道央ブロック
H30-15	寺 田 敏 子	北19- 4	道南ブロック

情報・ご案内

○ 2018 年度ばんえい競馬開催終了 “単独開催以降 過去最高” ～ 発売額 244 億円 入場者数 28 万 9 千人超 !! ～

帯広市が主催するばんえい競馬は3月24日(日)、2018年度の全日程(151日間)を終えました。今年度の馬券発売額は、前年度比 11.1%増の 244 億 2919 万 3700 円で、単独開催になった 07 年度以降では過去最高。今年度は北海道胆振東部地震による停電の影響から 3 日間開催が中止となりましたが、南関東 4 地方競馬場のネット発売システム(SPAT4)での売上げが 21.3%増となるなど、インターネットによる販売が全体の約 8 割を占める結果となりました。

また、帯広競馬場の入場者数も 2.8%増の 28 万 9457 人で、過去最高でした。

最終日の 24 日は大勢のファンが詰め掛け、1 日の発売額が 2 億 4344 万円。その中で、ばんえい記念1レースの発馬額は、7350 万円を売り上げ、同記念としては、過去最高を記録しました。また、同日の帯広競馬場の入場者数も 6535 人となり、前年を 500 人以上も上回りました。

【帯広市単独開催の発売金額および本場入場者数】

年度	開催日数	発売金額(円)	本場入場者数(人)
平成 19 年度	150 日	12,933,971,600	237,165
平成 20 年度	150 日	11,555,358,700	214,808
平成 21 年度	150 日	10,736,137,400	200,176
平成 22 年度	151 日	10,568,312,900	247,416
平成 23 年度	154 日	10,364,421,300	245,782
平成 24 年度	153 日	10,494,580,600	254,081
平成 25 年度	153 日	11,662,642,800	268,693
平成 26 年度	153 日	13,218,352,600	278,263
平成 27 年度	152 日	14,579,315,600	282,932
平成 28 年度	152 日	16,154,093,000	267,997
平成 29 年度	150 日	21,992,641,500	281,632
平成 30 年度	151 日	24,429,193,700	289,457

○ 「農林水産大臣賞典 第 51 回ばんえい記念」 ～ “センゴクエース” 初挑戦にて見事初制覇を遂げる !! ～

平成 31 年 3 月 24 日(日)帯広競馬場において、ばんえい最高峰の重賞競走「農林水産大臣賞典第 51 回ばんえい記念」(BG1)を行い、単勝 2 番人気のセンゴクエース(牡 7 歳、槻館重人調教師、工藤篤騎手、馬主 千石貞子)が初挑戦にして見事ばんえい記念を初制覇しました。2 着は 1 番人気のオレノココロ(牡 9 歳、槻館重人調教師、鈴木恵介騎手)、3 着は 3 番人気のフジダイビクトリー(牡 11 歳、中島敏博

調教師、菊池一樹騎手)、4着は4番人気、コウシュハウンカイ(牡9歳、松井浩調教師、藤本匠騎手)となりました。

センゴクエースは、これで重賞競走が通算12勝目、今季は重賞未勝利で迎えたばんえい記念を初制覇。騎乗した工藤騎手も同じくばんえい記念は初制覇となりました。昨年、一昨年を制し今回2着のオレノココロも同じく槻館きゅう舎所属馬で調教師としてはばんえい記念3連覇を見事達成しました。おめでとうございます！！

<センゴクエース号のプロフィール> ※2019年3月24日現在 生年月日・毛色:2012年4月20日(牡7歳・鹿毛) 血統:父 ウンカイ 母 サダエリコ (母父)ダイヤテンリュウ 生産者:芝桜高橋牧場 馬主:千石 貞子氏 厩舎:槻館 重人厩舎 通算成績:82戦38勝(うち重賞12勝)

○ “工藤 篤騎手(48歳) 引退を発表”

ばんえい十勝は、平成31年4月1日(月)工藤篤騎手(48歳)が、平成31年3月29日(金)をもって引退したことを発表しました。

工藤騎手は青森県弘前市出身で1992年4月に騎手デビュー。

通算成績は、1万4,214戦1,522勝、うち重賞は、7勝。今季は、昨年11月のばんえい菊花賞、クインカップ、今年3月のばんえい記念を制しました。

工藤 篤(くどう あつし) 騎手プロフィール	
※2019年3月29日(金)時点	
生年月日	1970年5月18日(48歳)
出身地	青森県弘前市
通算成績	14,214戦1,522勝(うち重賞7勝)
初騎乗	1992年4月18日(騎乗馬:ナオスタカラ号)
初勝利	1992年5月24日(騎乗馬:コーネルトップ号)
重賞優勝	2007年 ホクレン賞 カネサリュウ号 2007年 イレネー記念 カネサリュウ号 2015年 ポブラ賞 ナナノチカラ号 2017年 ナナカマド賞 ミスタカシマ号 2018年 ばんえい菊花賞 ミスタカシマ号 2018年 クインカップ メジカラ号 2019年 ばんえい記念 センゴクエース号

○ 帯広競馬場改修 “スタンド入口にエレベーターを新設” !!

～ 身障者用トイレオストメイト対応 喫煙所改修 放送設備修繕 ～

帯広市は2019年度、帯広競馬場内の施設整備を順次計画しています。

スタンド入口には新たにエレベーターを設置。また、1階の身障者用トイレを人工肛門・ぼうこうを使用している人(オストメイト)対応に改修。喫煙所の改修や競馬場内の放送設備の修繕、きゅう舎2棟の立て替えなども行う予定です。

競馬場施設の大半は十勝農協連が所有しており、市は施設整備や修繕の費用の

一部を負担いたします。19年度の改修や整備にかかる費用は3億7220万円。競馬場の施設整備のための基金を取り崩してこれらに活用する計画です。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
3月3日	第50回 イレネー記念	メモロボブサップ	竹澤 一彦	坂本 東一
3月10日	第40回 ポプラ賞	メジロゴーリキ	広瀬 豪	松井 浩文
3月24日	第51回 ばんえい記念	センゴクエース	千石 貞子	槻館 重人

優勝おめでとうございます！！

◆ 第50回イレネー記念（3歳オープン）

3月3日(日)は重賞・イレネー記念（3歳オープン）が行われ、単勝1番人気のメモロボブサップが優勝。ナナカマド以来となる重賞2勝目を挙げ、現3歳世代の頂点に君臨しました。

上位人気馬のオッズは拮抗しましたが、1番人気はナナカマド賞馬のメモロボブサップ。ナナカマド賞とヤングチャンピオンシップでともに2着のギンノダイヤモンド、目下5連続連対中のサクラドリーマーと続き、以下ジェイエース、アオノブラックと、5頭が単勝ひと桁台のオッズとなりました。力関係がまだはっきりしていない3歳のこの時期だけに、割れた戦前予想となりました。

馬場水分は1.0%、全馬未知の690キロ(牝馬670キロ)だけに、道中はゆったりとしたペース。わずかにインビクタが先行し、エースモリウチ、ギンノダイヤモンドが追走。さらにメモロボブサップ、アオノブラックあたりも前々で運びます。ただ、各馬とも慎重に進んだことで隊列は大きく崩れず、接近した状態で第2障害を迎えました。

ひと息入れて、最初に仕掛けたのはインビクタ。続けてジェイカトレアも動き、ギンノダイヤモンドも登坂を開始します。なかでも抜群のかかりを見せたのはギンノダイヤモンドで、ひと腰で障害を突破。じっくりためていたメモロボブサップもひと腰でクリアし、以下アオノブラック、インビクタ、ジェイエースなど、続々と最後の平坦路へ向かいました。

障害後に勢いよく脚を伸ばしたのはメモロボブサップ。ギンノダイヤモンドとの差を一気に詰め、残り20メートル付近で並ぶ間もなく先頭に立ちます。そして、ギンノダイヤモンドが残り10メートル付近で脚を止めて勝負あり。最後までしっかり歩ききったメモロボブサップが、世代チャンピオンに輝きました。5秒3差の2着にギンノダイヤモンドが入り、さらに9秒5差の3着にはアオノブラックが入線しました。

障害下でじっくりためたのが功を奏し、抜群の末脚を發揮したメモロボブサップ。14年前のこのレースで1番人気ながら6着に敗れた父ナリタボブサップの雪辱を、見事に果たしました。落ち着き払った阿部武臣騎手の手綱さばきも、さすがといったところ。今後もこのコンビに要注目です。

ギンノダイヤモンドはしまいに甘くなり、ナナカマド賞、ヤングチャンピオンシップに続く3度目

の重賞2着。ただ、切れのある登坂には目をみはるものがあり、今後の成長や馬場次第で、タイトル奪取のチャンスも十分です。

近況がひと息だったアオノブラックが、復調を示す3着。やはりこの世代では地力上位の存在で、今後も重賞戦線を沸かせてくれるに違いありません。

◆ 第40回ポプラ賞（4、5歳オープン）

3月10日(日)は重賞・ポプラ賞（4、5歳オープン）が行われ、単勝1番人気の5歳馬メジロゴーリキが優勝。チャンピオンカップを制した勢いそのままに、重賞連勝を果たしました。

強豪ぞろいだった前走のチャンピオンカップを勝利したメジロゴーリキが、単勝1.5倍の圧倒的な1番人気。続く2番人気にゴールデンフウジンが推され、以下は話されたオッズとなりましたが、マツカゼウンカイ、ミノルシャープと、全体的に5歳勢が優勢と見られました。馬場水分は0.5%と、乾いた状態でゲートオープン。

わずかにメジロゴーリキやゴールデンフウジンといった人気どころが先行しますが、道中はほぼ横一線。各馬の出方をうかがう展開で、第2障害を迎えました。

ひと息入れて、各馬がいつせいに仕掛けましたが、切れのある登坂を見せたのはメジロゴーリキ。ひと腰で難関を突破し、先頭で最後の平坦路に向かいます。ミスタカシマやキタノユウジロウ、コウシュハレガシー、ゴールデンフウジンも圏内でクリア。しかし、ゴールデンフウジンは障害後につまずき、ヒザをつくアクシデント。即座に立て直しましたが、混戦模様の展開だけに、痛いロスとなってしまいました。

先頭は相変わらずメジロゴーリキ。圏内で下りた各馬も懸命に追いますが、これに7番手クリアのミノルシャープが加わり、混戦に拍車を掛けます。それでもメジロゴーリキは粘り続け、かえって追走勢が苦しくなる展開に。残り10メートル付近で、なんとか脚を伸ばしていたのはキタノユウジロウとミノルシャープで、さらにつまずくアクシデントがあったゴールデンフウジンも浮上。最後は激しい消耗戦となりましたが、結局メジロゴーリキが底力を発揮して粘り切り、重賞連勝を果たしました。最後まで歩ききったキタノユウジロウが2着で、追い上げたゴールデンフウジンが3着。以下ミノルシャープ、ミスタカシマの順で入線しました。

各馬に追われる厳しい展開を、底力で制したメジロゴーリキ。ハンデ差があったとはいえ、チャンピオンカップでオレノココロを完封したのはフロックではありませんでした。これで重賞は出走機会3連勝。世代チャンピオンとしてはもちろん、それ以上の活躍もおおいに期待できそうです。

◆ 第51回ばんえい記念（4歳以上オープン）

3月24日(日)は重賞・ばんえい記念（4歳以上オープン）が行われ、単勝2番人気のセンゴクエースが優勝。2歳時から将来を囑望されていた素質馬が、ばんえい記念初挑戦で頂点を極めました。

極限の重量だけに、このレースを連覇中のオレノココロに人気が集。単勝1.5倍と、圧倒的な1番人気に支持されました。続くのは超良血センゴクエースで3.5倍。今回が引退レースとなるフジダイビクトリーが7.1倍の3番人気で、この3頭が単勝ひと桁台に推されました。

馬場水分は1.2%でスタートしましたが、雪がちらついたこともあってか、有力どころはすんなりと第1障害を突破します。ただ、そうはいつでも1トン戦。各馬、慎重に歩を進め、ゆったりとしたペースで中間点を進みます。オレノココロ、フジダイビクトリー、センゴクエースといった上位人気馬が先行し、そのうしろからコウシュハウンカイ、シンザンボーイ、ソウケンボーイが追走。第2障害にはフジダイビクトリー、センゴクエース、オレノココロ、コウシュハウンカイの順でたどり着きました。行きたがるのをなだめつつ、じっくりためる各ジョッキー。普段よりも静

寂の時間が長く続きましたが、コウシュハウカイ、オレノココロ、フジダイビクトリーが同時に動き、センゴクエースもこれに続いてレースが活性化。ファーストアプローチで天板近くまで上がったのはオレノココロとセンゴクエースで、フジダイビクトリーも二の腰を入れて天板付近へ。しかし、ここからが1トン戦の正念場。センゴクエースがヒザ折りを喫するなど、各馬苦戦を強いられました。しかし、経験豊富なベテラン・フジダイビクトリーが天板まで登り切り、そのまま障害を突破。最後の勇姿を見せるべく、先頭で最後の平坦路へ向かいました。やや遅れて、立て直したセンゴクエース、障害巧者コウシュハウカイ、慎重に登坂を進めたオレノココロがクリア。勝負の行方は実績のあるこの4頭に絞られました。

なかでも抜群の末脚を發揮したのはセンゴクエース。1トンを曳いているとは思えない、軽快なスピードを見せてフジダイビクトリーに襲いかかります。対するフジダイビクトリーは行き脚が鈍り、残り30メートル付近でストップ。労せずしてセンゴクエースが先頭を奪います。

しかし、オレノココロも4番手から切れのある末脚を繰り出すと、コウシュハウカイ、フジダイビクトリーをかわし、残り10メートルの手前で単独2番手に浮上。さらにセンゴクエースを捉えるべく懸命に脚を伸ばし、徐々に差を詰めにかかります。しかし、センゴクエースもしぶとい粘りを發揮し、わずかなリードを懸命に守り抜きます。頂点を争うにふさわしい、ゴール前のしのぎ合い。結局、2秒4差でセンゴクエースが先頭で荷物を運び切り、第51代ばんえいチャンプの座に君臨しました。オレノココロが2着で、さらに12秒5差の3着には、引退レースのフジダイビクトリーが入線しました。

素質馬センゴクエースが、とうとう頂点奪取を果たしました。いわずと知れた父ウンカイ、母サダエリコの超良血。父母も果たせなかったばんえい記念制覇を、7歳にして成し遂げました。第2障害ではヒザをつく場面もありましたが、即座に立て直し、障害を越えてからは1トンを曳いているとは思えない軽快なフットワークを發揮。ひと皮むけたレースぶりで、ばんえいチャンプにふさわしい勝ち方だったと言えるでしょう。いかにも円熟期を迎えたようなレースぶりに、よりいっそうの活躍が期待できそうです。

オレノココロは3連覇ならず。今回ばかりはセンゴクエースに強い競馬を演じられてしまった印象ですが、障害を越えてからの脚は、この馬本来のものでした。馬場水分のわりには若干速い3分35秒の決着になったのも向かなかった印象で、展開や馬場次第で頂点を奪い返す可能性も十分です。

ラストランで見せ場十分のレースを演じたフジダイビクトリー。2016年にばんえい記念を制して以降も随所で存在感を示してきただけに、その勇姿を見られなくなるのは一抹の寂しさも感じさせます。通算218戦39勝、重賞は10勝。その数字のみならず、ばんえいを沸かせた名馬として、今後も記憶に残ることでしょう。

※レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。